

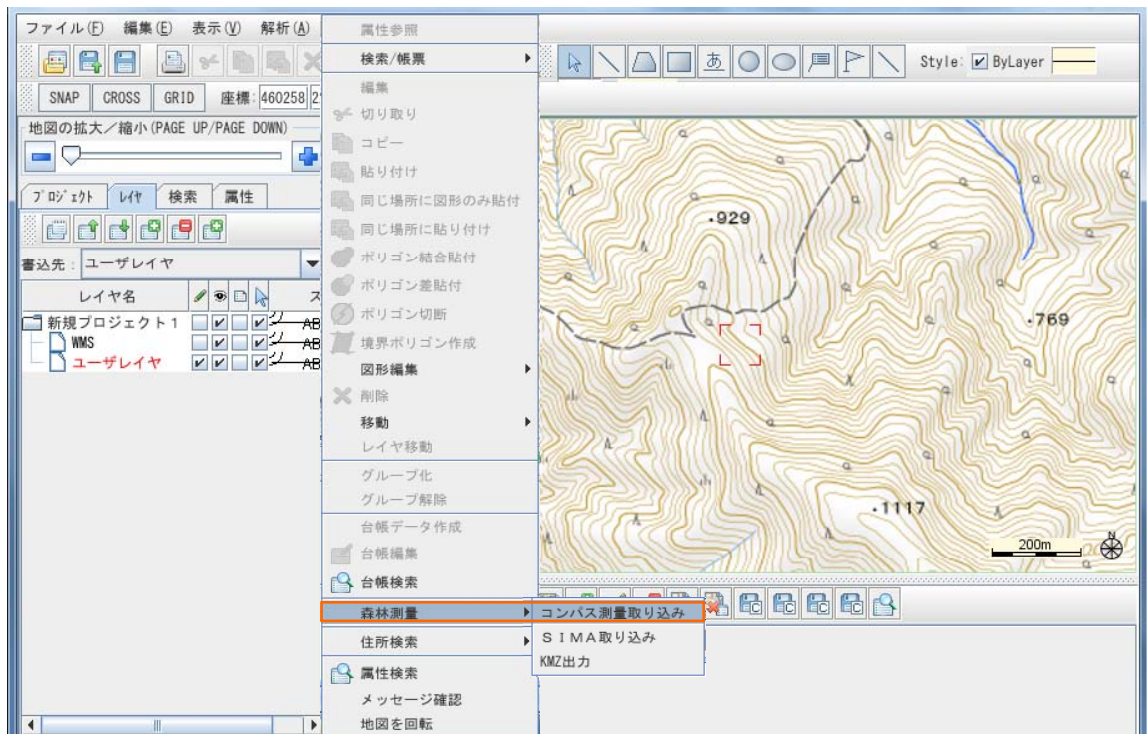
山守コンパス測量データの読込み

山守コンパスで測量したデータ(dbfファイル/csvファイル)を山守くんLiteへ読込み、表示させる方法となります。測量データは、必ず端末本体からPCやHDDへコピーしてから読込み作業を行きましょう。

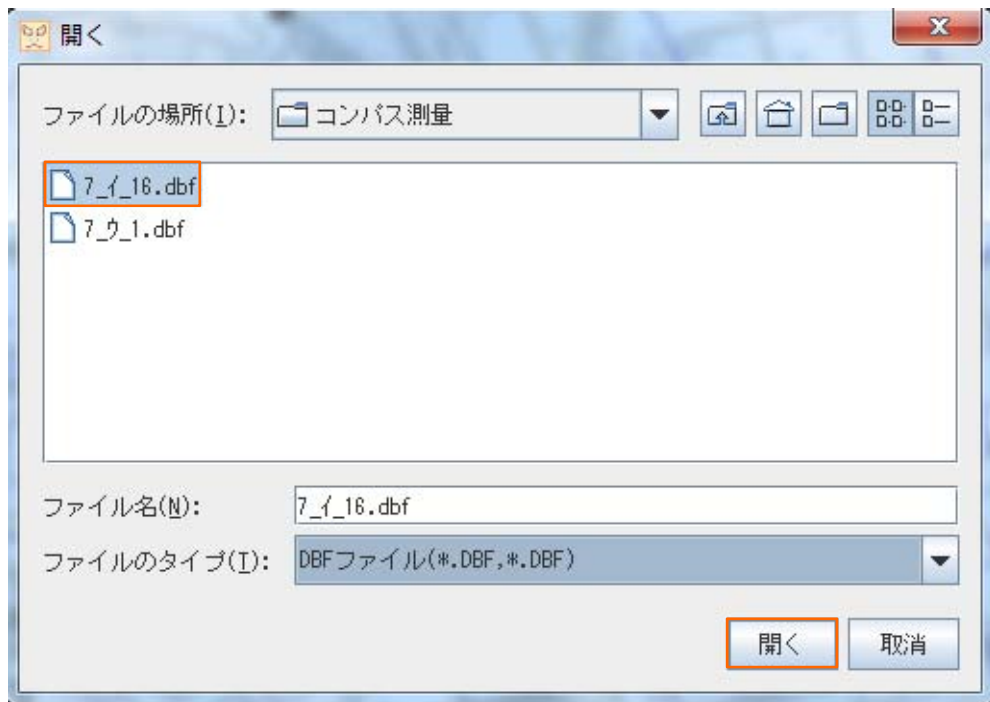
すでに背景地図(地理院地図や林小班)が格納されているファイルへGARMIN測量データを読込む場合の手順となります。新しいファイルへ読込む場合は、最初に地理院地図など背景図を表示してから、読込み作業を行きましょう。

★1 山守コンパス測量データの読込み

- 1 地図領域エリアでマウス右クリックし、メニューバーの[森林測量]—[コンパス測量取り込み]をクリックします。



- 2 読み込む測量データファイル(dbfファイル)を選択し、[開く]をクリックします。

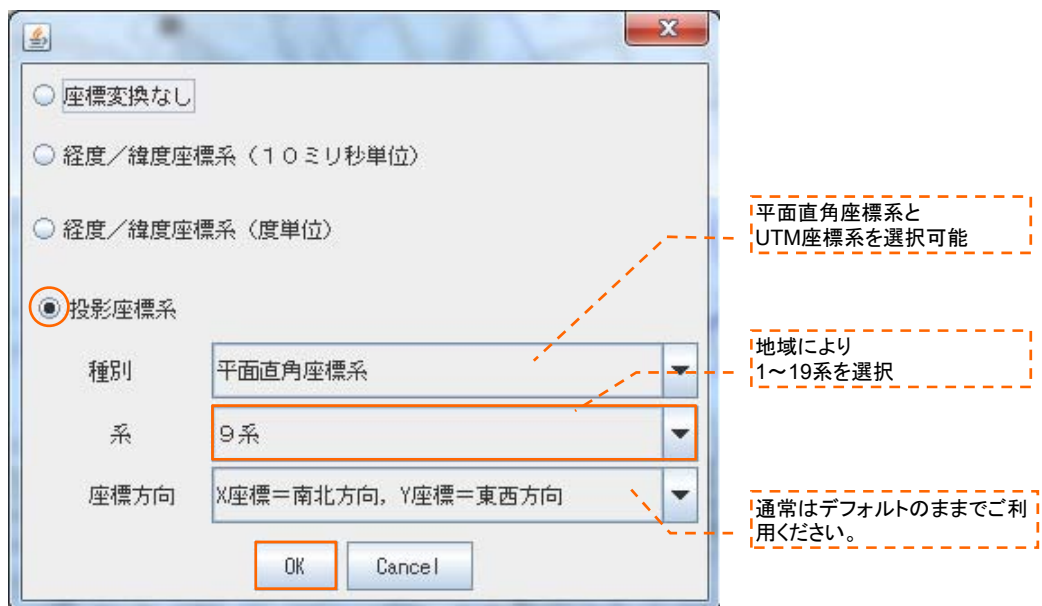


- 3 ウィンドウが開きますので、座標系の設定を行い、[OK]をクリックします。

基本的には、山守コンパスから出力したデータは平面直角座標系データです。

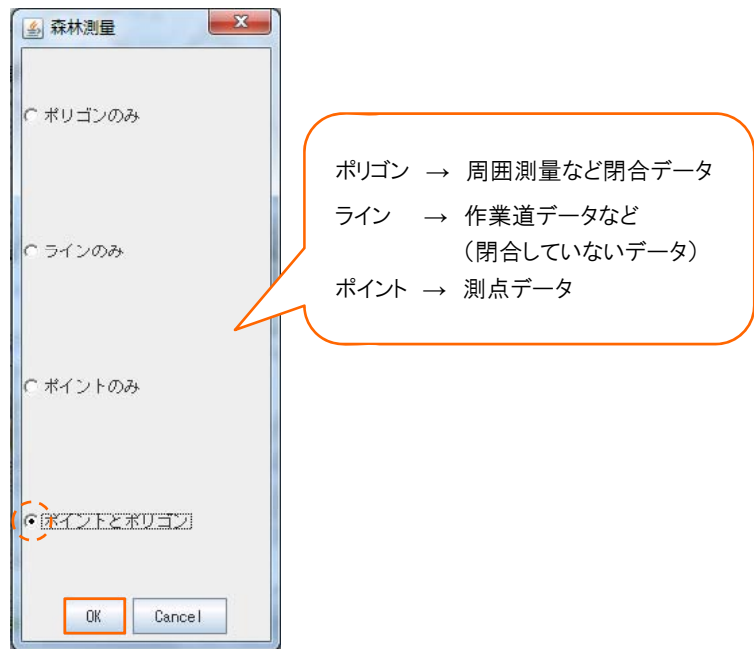
<例> 栃木県(関東地方)は[平面直角座標系 9系]なので、系は[9系]を選択します。

[\[系\]は、地域により異なりますので、ご指定ください。](#)



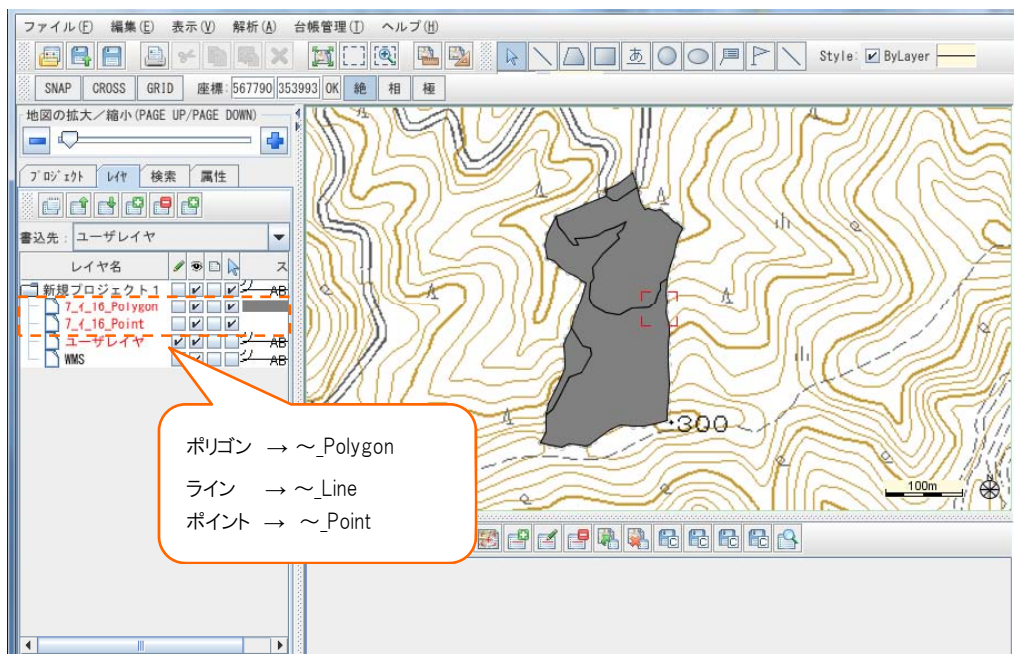
4 [森林測量]ウィンドウが開きますので、読み込む形状を選択し、[OK]をクリックします。

※注意 周囲測量以外でポリゴンを選択すると図形は作成されません。




5 地図表示画面にデータが表示され、[レイヤ]タブに追加されます。

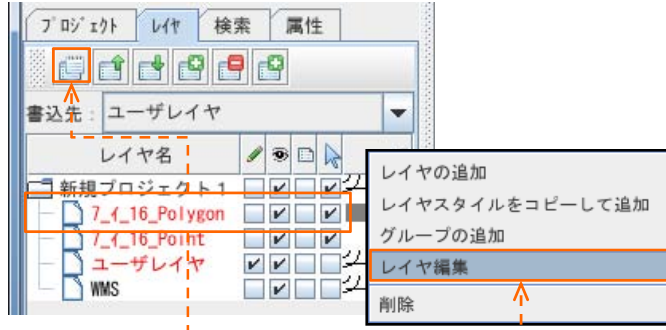
<例> 4で [ポイントとポリゴン] を選択したのでレイヤに 7_1_16_Point/7_1_16_Polygon が追加されました。



★2 測量データの表示設定

1 読込んだ測量データのレイヤの詳細設定を行います。

[詳細を表示する]  をクリック、またはマウス右クリックし、[レイヤ詳細]を選択します。



2 【名称】【ライン】【ペイント】【フォント】【シンボル】が変更できます。

変更が完了したら[適用する]をクリックし、[OK]をクリックします。

レイヤ詳細

名称: test2

表示する

最小表示1/ 指定なし 最大表示1/ 指定なし

ライン

ペイント

フォント ABCDE サンプル文字列

シンボル

ラインスタイル設定

ライン表示スタイル

表示色

線種

矢印

塗り色

サンプル(S) RGB

最新:

塗り色

ハッチスタイル設定

塗り色

ハッチ色

ハッチング なし

塗り色 透明度 0 100 200 255

プレビュー

シンボル選択

ペクトル イメージ

表示色

シンボルの大きさ (標準: 0.4) 0.4

単位が幅同じに合わせて大きさを変える

Font Chooser

フォント Dialos スタイル Plain サイズ 12

日本語対応フォントのみ表示する

文字色 背景色 背景色を設定する

プレビュー abcde ABCDE 0123456789 日本語

スケーリングする (保証 0.4)

塗潰す色や透明度などを
変更できます

塗潰す色や透明度などを
変更できます

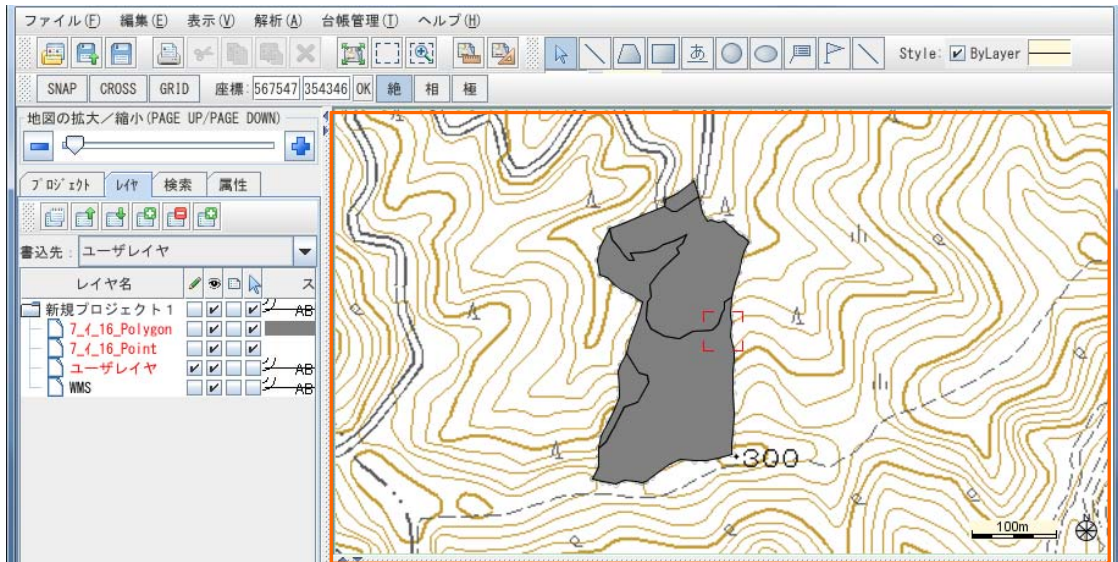
塗潰す色や透明度などを
変更できます

フォントのスタイルやサイズ、
カラーなどを変更できます

ポイントデータの変更ができます

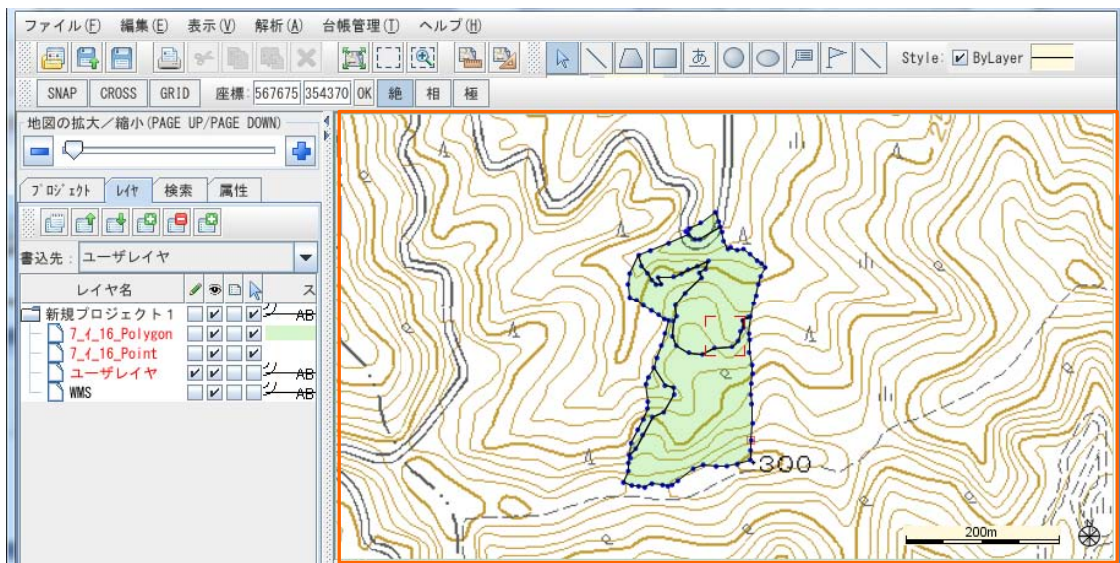
3 各レイヤの詳細設定が変更されていることを確認します。


〈変更前の画像〉



〈変更後の画像〉

- 〈例〉 7_I_16_Polygon レイヤ → ペイント変更 塗りつぶし色変更(緑色) 塗りつぶし色透明度変更(50)
 7_I_16_Point レイヤ → シンボル変更 表示色変更(青色) シンボル変更(●)



- 4 必要があれば、コンパス測量データの属性値を地図上に表示することができます。
レイヤタブから設定を行うレイヤを選択し、[ラベル表示フラグ]  にチェックを入れます。



- 5 [レイヤラベル表示設定]ウィンドウが立ち上がります。[ラベルを表示する]にチェックを入れ、表示したい項目を選択します。違う項目をマウスクリックすると、複数項目を選択でき、もう一度マウスクリックで選択解除します。設定が完了したら、[OK]をクリックします。

ラベルを表示する場合は必ずチェックを入れて下さい。
消去する場合はチェックを外して下さい。

マウスクリックで複数選択する事が可能です

ラベルを表示する位置を設定します

ラベルとポイントやポリライン等との距離を設定します

6 ラベルが表示された事を確認します。

<例> レイヤ[7_イ_16_Point] のフィールド名称[測点] を表示しました。

